

# 玉宮公民館だより

【発行責任者】玉宮公民館

館長：深澤公男

主事：廣瀬 力

## 公民館活動の報告

### ● 甲州市童謡フェスティバルに参加しました！

2月14日(土)甲州市童謡フェスティバルが市民文化会館ホールにて開催されました。当日は市内公民館11地区の参加があり玉宮公民館からは29名参加しました。深澤晶子先生の伴奏、雨宮千桜さんの指揮のもと『アンパンマンのマーチ』『ドレミのうた』の2曲を熱唱しました。

今回は、アンパンマンのお面の着用や曲に合わせたベルを鳴らす演出を行い、最後に客席に向かって手を振る振付で締めくくりました。発表後には「子供たちの歌声が元気で大きく、とても良かった」「アンパンマンのお面がとても可愛らしかった」などの声をいただき会場全体が笑顔に包まれ、参加した子供たちにとっても思い出に残る一日となりました。



《熱唱後客席に向かって手を振る》



《曲に合わせてベルを鳴らす》

《玉宮公民館での練習》

廣瀬文武

横山幸恵

駒田留美子

深澤公男

廣瀬 力

奥山武夫

澤登秀雄

向山泰三

中村孝栄

廣瀬 博

樋口重和

中村勝久

廣瀬文武

駒田留美子

深澤公男

廣瀬 力

・玉諸の社に一声初鶯  
・蓮枯れて沼に見るものモノトーン

・肩寄せて幼ゆびさす冬銀河  
・朝日あび野越え畑越え初鶯

・冬銀河初産のこと思はるる  
・神木の上に鳴き交ふ初鶯

・枯蓮のゆれて水面のきらきらす  
・山畑に飛ばず鳴かずの初鶯

・冬の星航灯しずかに線を引く  
・蓮枯るる水面冷ゆるや母のこと

令和八年二月二十一日(土)

兼題：「立春(春来る、春立つ)」「東風(朝東風、梅東風、強東風)」「西行忌」

・モナリザのやわらな瞳春立ちぬ  
・谷底のくつきり透けて春立ちぬ  
・凛として下枝ほころび春立ちぬ  
・野に山に花なほ咲かぬ西行忌

・強東風の野菜のシート煽りけり  
・西空に残月白く西行忌

・強東風や裏木戸の音頻りなる  
・旅靴に地図とメモ帳西行忌

・東風吹くや祠の幣のやぶれさう  
・うすらひの端の昏れゆく西行忌

・梅東風に誘われ見遣る河川敷  
・なほ硬き花芽に触るる西行忌

・立春や雨を待ちたる人も木も  
・強東風や竹林揺らぐ僧の道

・春立つや恵みの雨に手のひらを  
・春立つやぶどうの蔓に触りたる

・春立つや俄かに雪の覆ふ里  
・強東風の家に当たるを寝間に聞く

・東風吹くや棚に透ける青き空  
・西行忌不老の丘に人集い

・春立つや雪に息衝くぎぜん草  
・うすらひの草きらめきて西行忌

## ● 家庭教育学級《親子料理教室》・《閉級式》開催！

### 《親子料理教室》

1月25日に市民文化会館料理実習室において家庭教育学級の一環として「親子料理教室」が開催されました。今回も食生活改善推進委員会と共催で行い、用意された食材を使って親子で協力しながら料理を作ることを通して、家庭での食育や親子のコミュニケーションを深めることを、目的としました。

出来上がった料理は参加者全員で試食を楽しみ親子で達成感を共有することができました。



《調理を行っている様子》



### 《閉級式》

3月1日玉宮公民館において本年度の家庭教育学級閉級式が実施されました。役員・スタッフの皆さま方のご尽力に感謝いたします。閉級式後、親子交流会として公民館館長・主事と”じゃんけん大会”を行い盛り上げました。



《閉級式で館長と”じゃんけん大会”》

## ● 玉宮公民館リニューアル記念コンサート開催！

1月17日(土) 今年度玉宮公民館をリニューアルした記念とし音楽教室とコンサートを開催しました。2月に行われる童謡フェスティバルの出場に向けた大人から子供まで音楽の楽しさを体験する音楽教室と混声合唱サークル「すみれの会」のミニコンサートが実施されました。約40名の参加者が集まり、さわやかな歌声に心安らくひとときとなりました。



《コンサートの様子》



《すみれの会の皆さま》

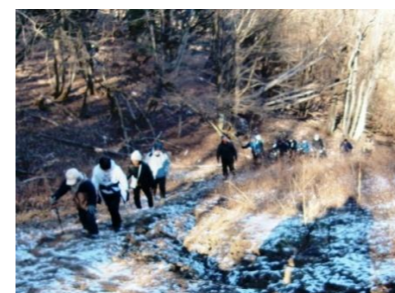
## ● 小倉山展望台登山に参加！

1月12日玉宮区長会及び地区有志の皆さんで小倉山展望台を目指し登山を行うということで同伴させていただきました。

ざぜん草公園内をぬけ山道を歩いて40分、展望台に到着しました。以前は樹木の成長で視界があまりよくありませんでしたが、現在はきれいに伐採されており富士山から南アルプスの山々が一望できその雄大な景色に一同感動し心地よい達成感に包まれました。皆さんも一度出かけてみてはいかがでしょうか。



《展望台の前で》



《展望台を目指す》



《展望台からの眺め》

- ・ 蒼天を舞ひて気ままに初鶯
- ・ しろがねの富士を見遣れば冬の星
- ・ 郷明り薄れゆくなり初鶯
- ・ 餉に急ぐ足ふと止めて冬の星
- ・ 枯蓮やふはりと浮かぶ羽一つ
- ・ 吾子の手に息吹きかけて冬銀河
- ・ からからと風抜けてゆく蓮の骨
- ・ 初鶯大樹より翔つ日の出かな
- ・ 枯蓮や静けさばかり池の底
- ・ 岩なる一本松や初鶯
- ・ オリオンを冠のごとく小倉山
- ・ 冬の星諸行無常の光なり
- ・ 枯蓮や大賀博士と三粒の種
- ・ 岩山迫るコルティナの町冬銀河

中村勝久

樋口重和

廣瀬 博

中村孝栄

向山泰三

澤登秀雄

奥山武夫

令和八年一月二十四日(土)  
兼題：「初鶯」「枯蓮(蓮の骨、蓮枯る)」「冬の星(凍星、冬銀河)」

俳句教室 作品紹介